

ブリヂストン グローバルコミュニケーション教室 世界につながる伝える力



「グローバルコミュニケーション教室」は、ブリヂストンの工場・拠点を中心に展開する出張授業です。グローバル化が進み、国内外で多様なルーツを持つ人々に関わる機会が増えている今日、相手のことを考えてコミュニケーションを取ることの大切さを、ワークショップやグローバル企業であるブリヂストンが経験してきた事例の紹介を通して学ぶプログラムです。

対象

中学校 1 年生

小学校 6 年生～中学校 3 年生まで対応可能ですが、教科との関連性から中学 1 年生の受講を推奨いたします

教科

総合的な学習の時間

国際理解分野、キャリア教育

社会科地理的分野

「世界各地の人々の生活と環境」の発展学習

時間

50 分 × 2 コマ (100 分)

人数

40 名～120 名程度 1～3 クラス程度

遠隔で実施する場合：1～4 クラス程度

場所

体育館、または多目的ホール

遠隔で実施する場合：各クラスの教室

必要物

プロジェクター、スクリーン、
筆記用具、マイクセット等

※遠隔授業の場合、モニター又はプロジェクターとスクリーンは各教室に必要です。

授業のねらい

- ・ グローバル社会における多様な人とコミュニケーションをとる力の重要性を学ぶことができる
- ・ 外国にルーツを持つ人とのコミュニケーションを疑似体験し、自分の意図を相手に適切に伝える難しさを体験し、学ぶことができる
- ・ ブリヂストンの海外勤務経験者へのインタビューを通じて、グローバル企業の事例を学ぶことができる

指導案 50 分 × 2 コマ

15 分

① 導入

- ・ ブリヂストンの紹介
- ・ 日本のグローバル化の現状
- ・ 海外勤務経験者のインタビュー動画視聴

35 分

ワークショップ①

「外国から来たゲストを地域の盆踊り大会に誘おう！」

「ワークショップ」の説明

- ・ グループ内で招待役 3 人とゲスト役 3 人に分かれ、それぞれの役になりきり活動する。
- ・ 異なる文化的背景を持つ人と関わる際の難しさを感じ、注意点や工夫を考える。



休憩

10 分

ワークショップ①振り返り

海外勤務経験者からのアドバイス

30 分

ワークショップ②

「外国から来たゲストをバーベキュー大会に誘おう！」

- ・ 1 回目のワークショップで考えた注意点・工夫や、動画から学んだポイントをふまえ、招待役とゲスト役を入れ替えて再度ワークショップを行う。



10 分

発展

- ・ ワークショップ全体を振り返る。
- ・ 授業まとめ
- ・ 海外勤務経験者からのメッセージ 視聴